

パソコンいっくら教室新聞

パソコンを使う上で怠ってはいけないのは「パソコンを最新状態に保つ」ことです。よく聞くこの呪文のような言葉。今更ながらの解説です。

パソコンが動くということ

その前に、少々ややこしい事柄ですが、パソコンが動いている仕組みを簡単に整理してみよう。

パソコンには、パソコンを動かす仕組みと、実際の仕事をする仕組みとがあります。パソコンを動かすのは「**基本ソフト(OS)**」と呼ぶ仕組みが働いています。キーボードを叩くと文字が出たり、その文字を画面に写したり、マウスを動かしたり、インターネットに繋いだり、プリンタと接続したり、と基本的な操作を行います。

実際の仕事では、報告書やチラシを作るなら「ワード」、家計簿や会計報告書を作るなら「エクセル」、インターネットで情報を検索するなら「エッジ」などを使って作業します。これらは総称して「**アプリケーションソフト**」と呼ばれます。長いので「**ソフト**」と呼ぶことが多いです。(スマホでは「アプリ」と呼んでいます) これらソフトを動かしているもの、このOSです。逆に言いますと、OSがないとソフトは動かないし、OSだけでも作業は何もできないことになります。

「ソフトをインストールする」とは、**実作業をするソフト**(例えばイラストを書くソフト)を、**パソコンで使えるようにOSにセットすること、を言います。**

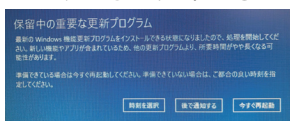
「パソコンを最新状態に保つ」とは、このOSを最新状態にするということを言います。

最新状態に保つとは、

パソコンに組み込まれているOSは、当然完成品ですが、出荷された後に見つかった、セキュリティ上の欠陥や、その後に追加された機能を補うために更新処理を行います。これが「**アップデート**」です。皆さんの多くが使っているパソコンでは、「**ウィンドウズ**」というOSが使われています。その更新処理なので、「**ウィンドウズアップデート**」といいます。

この処理は、インターネットを通じて行われますので、その環境が必要です。

実際の作業はといいますと、特に何もする必要はありません。現在のウィンドウズ10では、自動的に行なわれる仕組みになっています。但し、年2回行われる大型アップデートでは、その時、画面に



前回のアップデート時の通知

通知されます案内に従い、操作する必要があります。(実際の操作はクリックを1、2回) 大型アップデートは1〜2時間ほど更新時間がかかります。次回の大型アップデートは、今月が予定されています。

最新の状態を保たないと…

自動更新でほぼ更新は行われますので、問題ないでしょうが、しばらくパソコンを使わない場合など、最新でない状態の場合があります。その時には注意が必要です。設定の「更新とセキュリティ」からアップデートの確認や手動更新ができます。

では、最新状態でないと何が問題なのでしょう。1つはセキュリティ上の欠陥がそのままになってしまい、ウィルスに感染したり不正に操作されてしまうかもしれません。また、新しい機能も追加されません。

もう1つは、保守期限が切れてしまう恐れがあります。保守期限が切れてしまうと、アップデートが行われなくなってしまうます。最新のウィンドウズは「**ウィンドウズ10・バージョン1803**」で、保守期間は「19年11月12日」までです。最新のアップデートをするたびに保守期間は延長されます。バージョンを確認しておきましょう。



設定・システムのバージョン情報

ウィンドウズ7は「20年4月11日」、ウィンドウズ8.1は「23年1月10日」が保守期限です。8.1にアップデートされていない「8」は、2年前に保守が切れています。

その他、OS以外にアップデートが必要なソフトもあります。そのあたりはまた来月にでも触れたいと思います。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month